

洗濯表示の見方を覚えて、上手に洗濯しよう！！

1. 洗濯表示について

衣類についている洗濯表示は、洗濯やアイロンかけ、クリーニングなど衣類のお手入れをするときに、衣類を適切に扱うための重要な情報です。現在使用されている洗濯表示は、「家庭での洗濯の仕方」「漂白の仕方」「乾燥の仕方」など5つの基本記号と、付加記号、数字が組み合わさってできており、その衣類の適切な洗濯の方法を衣類についている洗濯表示は、判断できるようになっています。



2. 現在使用されている洗濯表示（平成28年12月から使用）および洗濯表示例

(1) 【洗濯表示】

家庭洗濯やクリーニングなど6分類で成り立っています。（右図参照）

出典：経済産業省HP

(2) 【洗濯表示例】

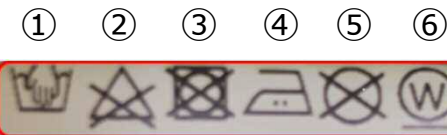
○Tシャツの場合



タンブル乾燥：洗濯物を回転させながら温風で乾燥させる方法（コインランドリー）

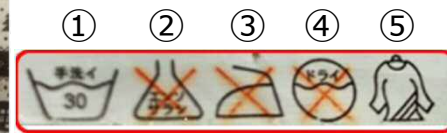
- ① 液温40℃限度 洗濯機で標準
- ② 酸素系漂白剤による漂白可および塩素系漂白剤による漂白不可
- ③ タンブル乾燥可（低温60℃まで）
- ④ 日陰でのつり干し乾燥がよい
- ⑤ 150℃アイロン仕上げ可
- ⑥ ドライクリーニング不可

○ジャケットの場合



- ① 液温40℃限度 手洗い
- ② 漂白不可
- ③ タンブル乾燥不可
- ④ 150℃アイロン仕上げ可
- ⑤ ドライクリーニング不可
- ⑥ ウエットクリーニング可（弱い）

○毛布の場合 ※平成28年12月以前の洗濯表示です。



- ① 液温30℃限度 弱い手洗い
- ② 塩素系漂白剤による漂白不可
- ③ アイロン使用不可
- ④ ドライクリーニング不可
- ⑤ 日陰のつり干しがよい

3. 終わりに

洗濯表示を理解して正しく洗濯をすると、衣類などをより長く使用することができます。皆さんもご自分の衣類などの洗濯表示をもう一度確認してみましょう！